研究実施のお知らせ

2026 年 9 月 3 日　ver.1.1

研究課題名

胸部 X 線動態撮影による外傷性肋骨骨折固定術前後の胸郭運動の定量評価

研究の対象となる方

2024 年 1 月 10 日から 2026 年 9 月 31 日までに島根大学医学部附属病院で、外傷による肋骨骨折に対して肋骨をプレート等で固定する手術（SSRF）を受け、手術前と手術後の両方で通常診療として胸部 X 線動態撮影（KINOSIS）が行われた 18 歳以上の方。

研究の目的・意義

肋骨骨折を固定する手術では、折れた肋骨や胸壁を安定させることが目的の一つです。しかし、手術によって胸郭の呼吸時の動きがどの程度変化したかを、画像で数値として評価する方法は十分に確立していません。本研究では、通常診療で撮影された胸部 X 線の動画を用いて、手術前後の胸郭や肋骨の動きを数値化し、その変化を調べます。手術そのものの有効性を他の治療と比較することを目的とした研究ではありません。

研究の方法

電子カルテ、手術記録、放射線画像システムおよび KINOSIS に保存された、通常診療ですでに得られている情報のみを利用します。この研究のために新たな検査、X 線撮影、採血、治療を行うことはありません。

利用する主な情報は、年齢・性別、受傷状況、肋骨骨折の部位・本数、肺挫傷・気胸・血胸等の胸部損傷、外傷重症度、手術日・固定した肋骨・固定本数、手術前後の胸部 X 線動態画像と撮影条件、必要に応じて撮影時の呼吸状態・疼痛・酸素投与、血液検査結果等です。

動態画像は、あらかじめ定めた手順に従って画像解析ソフトウェアを用いて数値化し、固定した胸壁周囲の異常な動き、左右または周囲との動きのずれ、胸郭全体や横隔膜の呼吸時の動きなどを解析します。解析用データには研究用番号を付け、氏名、患者番号、生年月日、住所、連絡先等の直接個人を特定できる情報を含めません。研究用に動画を書き出す場合も、画像内に氏名や患者番号等が表示されていないことを確認します。

研究データを学外の企業等へ提供する予定はありません。KINOSIS の出力仕様について製造販売企業へ技術的な問い合わせを行うことがありますが、その際に患者さんの画像や診療情報は提供しません。研究計画の変更について必要な審査・許可を受けない限り、研究画像を外部クラウドサービス（生成 AI を含む）へ送信しません。

研究の期間

2026 年 10 月 29 日～ 2028 年 6 月 30 日

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。公表の際に、お名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

個人情報と研究データの取り扱い

研究用データはアクセスを制限した院内の保管場所等で管理します。研究用番号と患者さんを対応させる表は解析データとは別に保管します。研究データおよび関連資料は、島根大学の規程に従って保管した後、個人を特定できない状態で廃棄・消去します。

研究組織

研究責任者：島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座　岡 和幸

実施機関：島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座

情報の利用停止

ご自身の診療情報や画像をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ、可能な範囲で利用を停止します。研究への協力を断っても、今後の診療で不利益を受けることはありません。

利用停止のお申し出は、2027 年 4 月 31 日までにお願いいたします。それ以降は解析や結果の公表が進んでいるため、情報の一部を削除できず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

研究責任者：島根大学医学部附属病院 高度外傷センター　岡 和幸

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話：0853-20-2757

E-mail：okazu@med.shimane-u.ac.jp